

## 農業技術センターニュース

| 目 次                |       |                                     |       |
|--------------------|-------|-------------------------------------|-------|
| 小型乗用管理機を利用した茶園の管理法 | ・・・ 1 | 施設ニラの時期別吸水量                         | ・・・ 4 |
| ユズエクボ症（仮称）の原因解明と対策 | ・・・ 2 | 高濃度酸素水の生育促進効果                       | ・・・ 5 |
| ユズエクボ症（仮称）の薬剤防除の検討 | ・・・ 3 | 酒造好適米品種「吟の夢」の収量<br>および玄米品質に及ぼす作期の影響 | ・・・ 6 |

### 小型乗用管理機を利用した茶園の管理法



写真 中切り作業風景

（上）小型乗用管理機

（下）可搬型剪枝機

表 1 中切りの作業時間

| 処理方式 | 人数 | 剪枝<br>回数 | 作業時間   |           |           |           |
|------|----|----------|--------|-----------|-----------|-----------|
|      |    |          | 調整時間   | 剪枝時間      | 合計        | 延べ時間      |
| 管理機  | 1  | 2        | 25分53秒 | 2時間 8分20秒 | 2時間34分13秒 | 2時間34分13秒 |
| 可搬型  | 2  | 2        | 8分15秒  | 2時間29分19秒 | 2時間37分34秒 | 5時間15分 8秒 |

注）作業時間は10a（畝長50m×11本、畝幅1.8m）に換算  
調整時間は剪枝機の刃の高さ調節時間・方向転換時間、畝間移動時間の  
合計。剪枝時間は剪枝往復時間。延べ時間＝作業人数×合計作業時間

表 2 中切りの作業精度

| 処理方式 | 剪枝位置の高さ (cm) |       |      |       |      |       | 標準偏差<br>の平均 |
|------|--------------|-------|------|-------|------|-------|-------------|
|      | 谷側           |       | 中央   |       | 山側   |       |             |
| 管理機  | 51.6         | ± 0.5 | 54.6 | ± 0.6 | 48.3 | ± 0.6 | 0.6         |
| 可搬型  | 52.6         | ± 1.8 | 61.4 | ± 1.9 | 44.0 | ± 1.4 | 1.7         |

注）剪枝位置の高さの各データは平均値±標準偏差

茶園で利用する機械類は、可搬型で重量が10kg以上あり、管理作業に人手が2名必要なため、樹勢維持を図る計画的な枝条管理がほとんど行われていません。そこで、当场では、増収・品質向上につながる小型乗用管理機を利用した茶園の管理法について研究しています。

今回は、傾斜茶園（傾斜 13～23 度）での小型乗用管理機と慣行の可搬型剪枝機との中切り作業の能率および剪枝面での作

業精度を比較しました。

その結果、作業要員は管理機 1 名、可搬型 2 名で、管理機は可搬型と比べ、調整時間は長いが剪枝時間は短く、延べ時間が短くなりました。また、中切りの作業精度も高くなりました（表 1、2）。

今後は、生育状況や摘採等の作業精度、生葉収量、荒茶品質を調査し、管理機の実用性を検証します。

（茶業試験場 濱田倫哉 0889-32-1024）